

NY マーケットレポート (2015 年 2 月 25 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。そして、イエレン FRB 議長が前日の上院に続き、下院の金融委員会での公聴会において、利上げをめぐる時間枠に柔軟な姿勢をあらためて示したことが材料視され、ドルは大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は、取引材料に乏しく、ドル円・クロス円は終盤まで小動きの展開が続いた。

2015/2/25 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.84	119.09	118.63
EUR/JPY	135.14	135.22	134.57
GBP/JPY	184.23	184.36	183.55
AUD/JPY	93.65	93.78	93.06
EUR/USD	1.1374	1.1389	1.1336

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.93	118.69
EUR/JPY	135.21	134.75
GBP/JPY	184.54	183.92
AUD/JPY	93.75	93.54
EUR/USD	1.1382	1.1337

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18585.20	-18.28
ハンセン指数	24778.28	+28.21
上海総合	3228.84	-18.06
韓国総合指数	1990.47	+14.35
豪ASX200	5944.90	+17.92
インドSENSEX指数	29007.99	+3.33
シンガポールST指数	3440.83	+3.22

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6935.38	-14.25
仏CAC40	4882.22	-4.22
独DAX	11210.27	+4.53
ST欧州600	386.76	-0.49
西IBEX35指数	11049.50	-15.00
伊FTSE MIB指数	21937.24	-212.51
南ア 全株指数	53217.75	-157.13

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.85	119.07	118.81
EUR/JPY	135.02	135.16	134.80
GBP/JPY	184.51	184.67	183.94
AUD/JPY	93.73	93.95	93.68
NZD/JPY	89.63	89.88	89.57
EUR/USD	1.1362	1.1369	1.1336
AUD/USD	0.7886	0.7902	0.7878

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18224.57	+15.38
S&P500	2113.86	-1.62
NASDAQ	4967.14	-0.98
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15228.57	+63.60
ブラジルボルサ指数	43802.07	-119.48
ロシアモスクワ指数	51811.02	-63.15

2/26 経済指標スケジュール

09:30	【豪】4Q民間設備投資
16:00	【独】3月GfK消費者信頼感調査
17:30	【スウェーデン】1月貿易収支
17:30	【香港】1月貿易収支
17:55	【独】2月失業率・2月失業者数
18:00	【欧】1月マネーサプライM3
18:30	【英】4Q GDP
18:30	【英】12月サービス業指数
18:30	【南ア】1月生産者物価指数
19:00	【欧】2月消費者信頼感・2月業況判断指数
19:00	【欧】2月サービス業信頼感
19:00	【欧】2月経済信頼感
19:00	【欧】2月鉱工業信頼感
22:30	【カナダ】1月消費者物価指数
22:30	【米】1月消費者物価指数
22:30	【米】1月耐久財受注
22:30	【米】新規失業保険申請件数
22:30	【米】失業保険継続受給者数
23:00	【米】4Q住宅価格指数
23:00	【メキシコ】1月貿易収支
23:00	【メキシコ】4Q経常収支
01:00	【米】2月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1201.50	+4.20
NY 原油	50.99	+1.71
CMEコーン	383.75	-1.75
CBOT 大豆	1010.75	-8.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.60%	0.55%
3年債	0.96%	0.95%
5年債	1.45%	1.45%
7年債	1.77%	1.77%
10年債	1.96%	1.97%
30年債	2.56%	2.59%

2/26 主要会議・講演・その他予定

- ・アトランタ連銀総裁 講演
- ・米7年債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -3.5% (前回 -13.2%)



指標結果データ

≪MBA 住宅ローン申請指数≫

	2/20	2/13	2/6	1/30	1/23	1/16	前年同期
申請指数	-3.5	-13.2	-9.0	1.3	-3.2	16.1	20.6
購入	4.6	-7.1	-6.5	-2.3	-0.1	-0.6	9.8
借換え	-7.5	-16.0	-10.3	2.5	-5.1	24.2	27.8
固定金利	-3.5	-12.8	-9.3	1.7	-2.4	15.5	23.8
変動金利	-4.5	-19.4	-3.6	-5.4	-13.5	27.1	-18.3

(%)

ローン契約平均金利 (%)

	30年	15年
固定金利	3.99	3.28
固定金利	3.93	3.24
固定金利	3.84	3.15
固定金利	3.79	3.14
固定金利	3.83	3.15
固定金利	3.80	3.10

21 : 05

南アフリカの 2015 年 GDP 成長率見通しは、従来の 2.5%から 2.0%に下方修正～南ア予算発表

22:00

ドル/円 118.92 ユーロ/円 134.89 ユーロ/ドル 1.1342

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6927.91	-21.72	ダウ INDEX FUTURE	18187	+1
仏 CAC40	4874.96	-11.48	S&P500 FUTURE	2112.00	-1.70
独 DAX	11199.43	-6.31	NASDAQ FUTURE	4444.00	-6.25

(出所:SBILM)

《ポイント》

南アフリカ財務省は、2015年の経済成長率見通しを昨年10月時点の2.5%から2.0%に引き下げた。慢性的な電力不足が経済活動の足かせとなっていることが背景で、電力不足が悪化した場合は予想を半減させる考えも示した。また、2016年の見通しも2.8%から2.4%に下方修正する一方で、2017年は3.0%に据え置いた。そして、インフレ率見通しも示し、2015年は4.3%、2016年が5.9%と予想。原油安で可処分所得が押し上げられることが加速の背景で、2017年は5.7%と見込んでいる。

2015/16年度の財政赤字がGDP比で3.9%との見通しを示し、10月時点の3.6%から引き上げた。景気の低迷で歳入が低水準にとどまることが背景。債務残高は、今後3年間で約5500億ランド（480億ドル）増加し、2017/18年度に2兆3000億ランドに達すると予想。南アフリカの純債務のGDP比は2014/15年度に40.8%と、5年前の約2倍に膨れている。財務省は2017/18年度に同比率が43.7%で安定化すると見通しを示した。

23:00

イエレン米FRB議長の下院金融委での証言は、前日の上院原稿と同じ見通し～関係者

23:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18208.67	-0.52
ナスダック	4961.02	-7.10

(出所:SBILM)

0:00

《 経済指標の結果 》

1月米新築住宅販売件数 48.1万件（予想 47.0万件・前回 48.2万件）
前回発表の48.1万件から48.2万件に修正

1月米新築住宅販売件数（前月比） -0.2%（予想 -2.3%・前回 8.1%）
前回発表の11.6%から8.1%に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新築住宅販売》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
販売戸数	48.1	48.2	44.6	46.9	45.6	44.8
前月比 (%)	-0.2	8.1	-4.9	2.9	1.8	12.3
	(万件)					
	1月	12月	11月	10月	9月	8月
北東部	1.5	3.1	2.8	2.4	3.3	2.8
中西部	6.2	5.2	5.9	6.5	6.0	5.2
南部	27.8	27.2	32.2	26.5	24.7	24.6
西部	12.6	12.7	12.7	11.5	11.6	12.2
	(万件)					

0:00

《経済指標の結果》

1月米住宅ローン延滞率 5.68% (前回 5.85%)



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標の結果 》

4Q メキシコ 経常収支 -53 億 1000 万 USD (予想 -69 億 8600 万 USD・前回 -27 億 8000 万 USD)
 前回発表の-27 億 0200 万 USD から-27 億 8000 万 USD に修正



(出所:ブルームバーグ)

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・843 万バレル増加
ガソリン在庫・・・312 バレル減少
留出油在庫・・・271 万バレル減少

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、FRBによる早期利上げ観測が後退したことを好感した買いが入る一方、ダウ平均が前日に最高値を更新したため利益確定売りが出るなど、序盤から売り買い交錯する展開が続いている。

《 要人発言 》

イエレン FRB 議長～下院金融委員会での証言

- ・「FOMC は機械的なルールに自らを縛るべきではない」
 - ・「今年、FRB は商品現物の新規制を提案する」
 - ・「米国の家計と企業は健全性を回復した」
 - ・「FOMC は利上げ後も経済への支援を継続へ」
-
- ・「インフレは上昇よりも、まず下落するだろう」
 - ・「強いドルと原油安でインフレは下落へ」
 - ・「インフレ率は、2-3 年で 2% に上昇へ」
 - ・「労働市場の改善は賃金の上昇圧力を意味するだろう」

<< 経済指標のポイント >>

(1) MBA(全米抵当貸付銀行協会)が発表した住宅ローン申請指数は、前週比-3.5%となり、3週連続のマイナスとなった。構成指数の住宅購入指数は+4.6%(前週-7.1%)とプラスに転じたものの、借り換え指数が-7.5%(前週-16.0%)と3週連続でマイナスとなったことが影響した。固定型の30年物住宅ローン平均金利は3.99%(前週3.93%)となり、15年物の平均金利は3.28%(前週3.28%)となった。また、申請指数全体に占める借り換えの割合は62%(前週65.7%)となった。

(2) 1月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比-0.2%の48.1万件と2ヵ月ぶりに減少した。前年同月比では5.3%となった。

①住宅在庫は、前月比+1.4%の21.8万件と11ヵ月連続で増加し、販売に対する在庫比率は5.4ヵ月と前月から横ばいで、適正水準とされる6.0ヵ月を引き続き下回った。

②販売物件の中間価格は、前月比で-2.6%の29万4300ドル、平均価格は前月比-8.0%の34万8300ドルとなった。

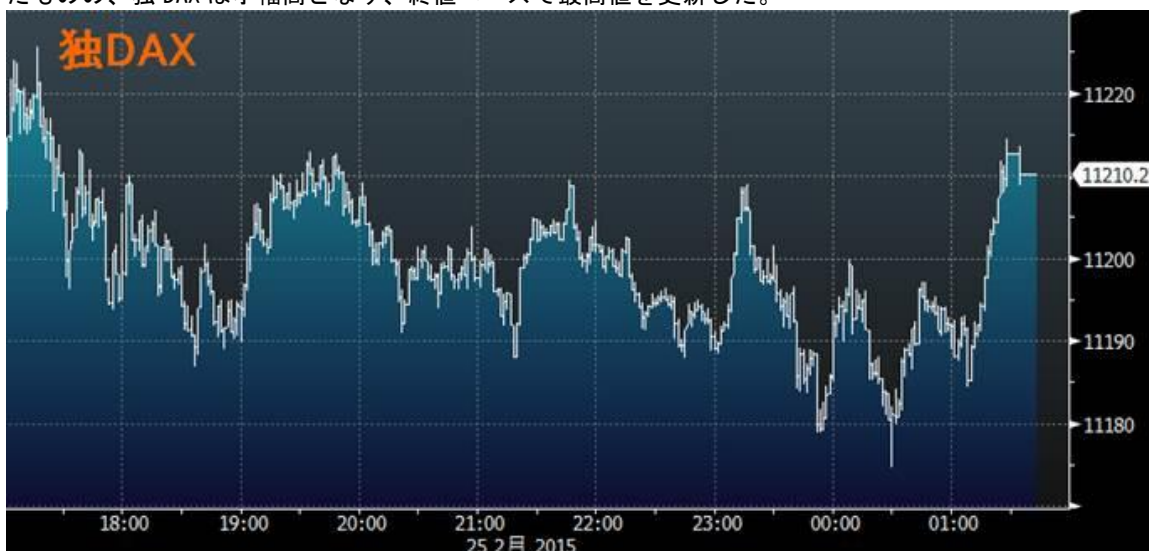
③地域別では、北東部が-5.16%と、記録的に低い水準となり、西部も-0.8%となった。一方、最大市場の南部は+2.2%、中西部は+19.2%となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6935.38	-14.25
仏 CAC40	4882.22	-4.22
独 DAX	11210.27	+4.53
ストック欧州 600 指数	386.76	-0.49
ユーロファースト 300 指数	1541.80	-1.49
スペイン IBEX35 指数	11049.50	-15.00
イタリア FTSE MIB 指数	21937.24	-212.51
南ア アフリカ全株指数	53217.75	-157.13

(出所:SBILM)

<< 欧州株式市場 >>

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。米国の早期利上げ観測の後退を手掛かりにした買いが入る一方、前日に最高値を更新した反動で利益確定の動きもあり、もみ合いの展開が続いた。英 FT100 や仏 CAC40 は小幅安となったものの、独 DAX は小幅高となり、終値ベースで最高値を更新した。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 18224.93 (+15.74)、 S&P500 2115.31 (-0.17)、 ナスダック 4972.42 (+4.30)

2:00

《 経済指標の結果 》

1月フランス求職者数合計 348.1万人（予想 350.3万人・前回 349.6万人）

前回発表の 349.6 万人から 350.1 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米 FRB が利上げ開始に慎重との見方が引き続き相場を支える半面、5 年物や 7 年物の米国債入札を控えてポジション調整の売りも出やすく、もみ合いの展開が続いている。

午前の利回りは、30 年債が 2.58%（前日 2.58%）、10 年債が 1.97%（1.97%）、7 年債が 1.78%（1.77%）、5 年債が 1.46%（1.45%）、3 年債が 0.97%（0.95%）、2 年債が 0.61%（0.55%）。

《 欧州のポイント 》

①ドイツ政府が実施した国債入札で、5 年物の落札利回りが初のマイナスとなった。ECB によるソブリン債購入開始を来月に控え、投資家需要が強まった。2020 年 4 月償還債（発行額 32 億 8000 万ユーロ＝約 4420 億円）の平均落札利回りは-0.08%と、ユーロ圏で実施された 5 年債入札での最低を更新した。

②スペインのラホイ首相は、自身が示した 2015 年の成長率見通しの 2.4%は保守的で、成長率がその予測を上回る可能性があるとの見方を示した。首相は「4 月に欧州委員会に示す成長率見通しは 2.4%になると思うが、その水準を上回る可能性もある」と述べた。

③イタリア国家統計局が公表した貿易収支統計によると、1 月の EU 加盟国以外との貿易収支は 2 億 3400 万ユーロの赤字となった。前年同月は 9 億 3800 万ユーロの赤字だった。輸出は前年同月比-3.5%、輸入は-8.5%となった。エネルギー関連を除いた 1 月の貿易収支は 22 億 5000 万ユーロの黒字となった。

④ギリシャのバルファキス財務相は、債務再編と投資を進め、プライマリーバランスの黒字を維持すれば、国際金融市場に復帰できるとの見方を示した。どのように債務を再編するのかとの質問には「債務を大幅に減らす債務スワップ」と述べた。また、すでに実施済みの民営化を撤回することはないが、現在実行中の民営化については、条件を変更することや合法性を調べることは法律上可能とも述べた。ギリシャのラファザニス・エネルギー相は、電力会社 PPC などの民営化計画を推進しない意向を示していた。

3 : 00

《米財務省 5 年債入札》

最高落札利回り・・・1.480%（前回 1.288%）
 最低落札利回り・・・1.400%（前回 1.200%）
 最高利回り落札比率・・・64.14%（前回 16.65%）
 応札倍率・・・2.54 倍（前回 2.49 倍）

3 : 00

《 要人発言 》

バルファキス・ギリシャ財務相（インタビュー）

- ・「ユーロ圏合意後、7 億ユーロが国内銀行に戻った」
- ・「3 月の資金繰り行き詰まり回避で ECB の支援必要」

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 4.20 ドル高の 1 オンス＝1201.50 ドルで取引を終了した。

5 : 10

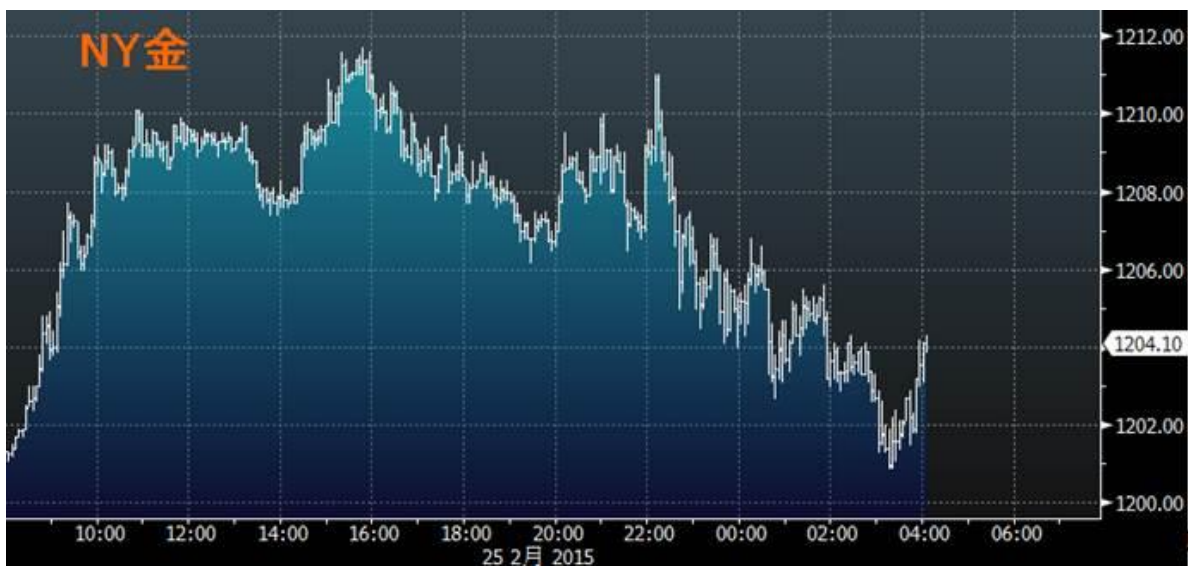
NY 原油は、中心限月が前日比 1.71 ドル高の 1 バレル＝50.99 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1201.50	+4.20
NY 原油	50.99	+1.71

（出所：SBILM）

《 NY 金市場 》

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したのにつれて、ドルの代替資産とされる金を買われた。また、中国の春節の連休が明けて市場参加者が戻ったことも、支援材料となった。



（出所：ブルームバーグ）

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油在庫統計でガソリンや石油精製品の在庫が減ったことが材料視され、エネルギー需要の増加期待から買い注文がとなった。中国の製造業関連の景況指数が改善し、景気減速懸念が後退したことも支援材料となり、6営業日ぶりに反発した。



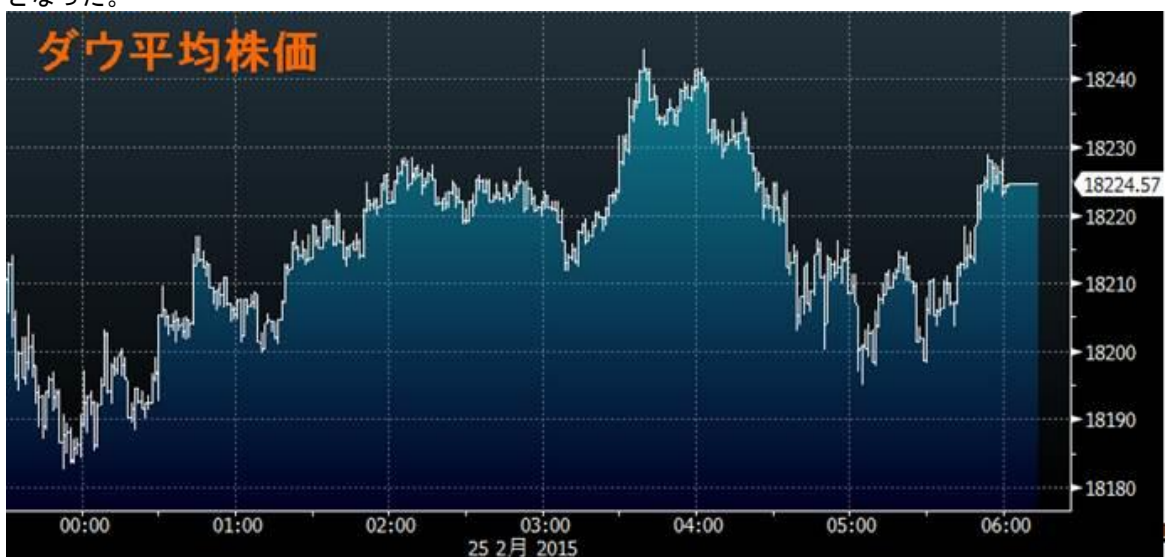
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18224.57	+15.38	18244.38	18182.76
S&P500 種	2113.86	-1.62	2119.59	2109.89
ナスダック	4967.14	-0.98	4984.24	4956.60

(出所:SBILM)

《 米株式市場 》

米株式市場は、FRBによる早期利上げ観測が後退したことを好感した買いが入る一方、ダウ平均が前日に最高値を更新したため利益確定売りが出るなど、序盤から売り買い交錯する動きとなった。そして、米国の主要な経済指標の発表もなく、終盤まで小動きの展開が続いた。ダウ平均株価は取引時間中、終値ベースでの最高値を更新する動きとなった。



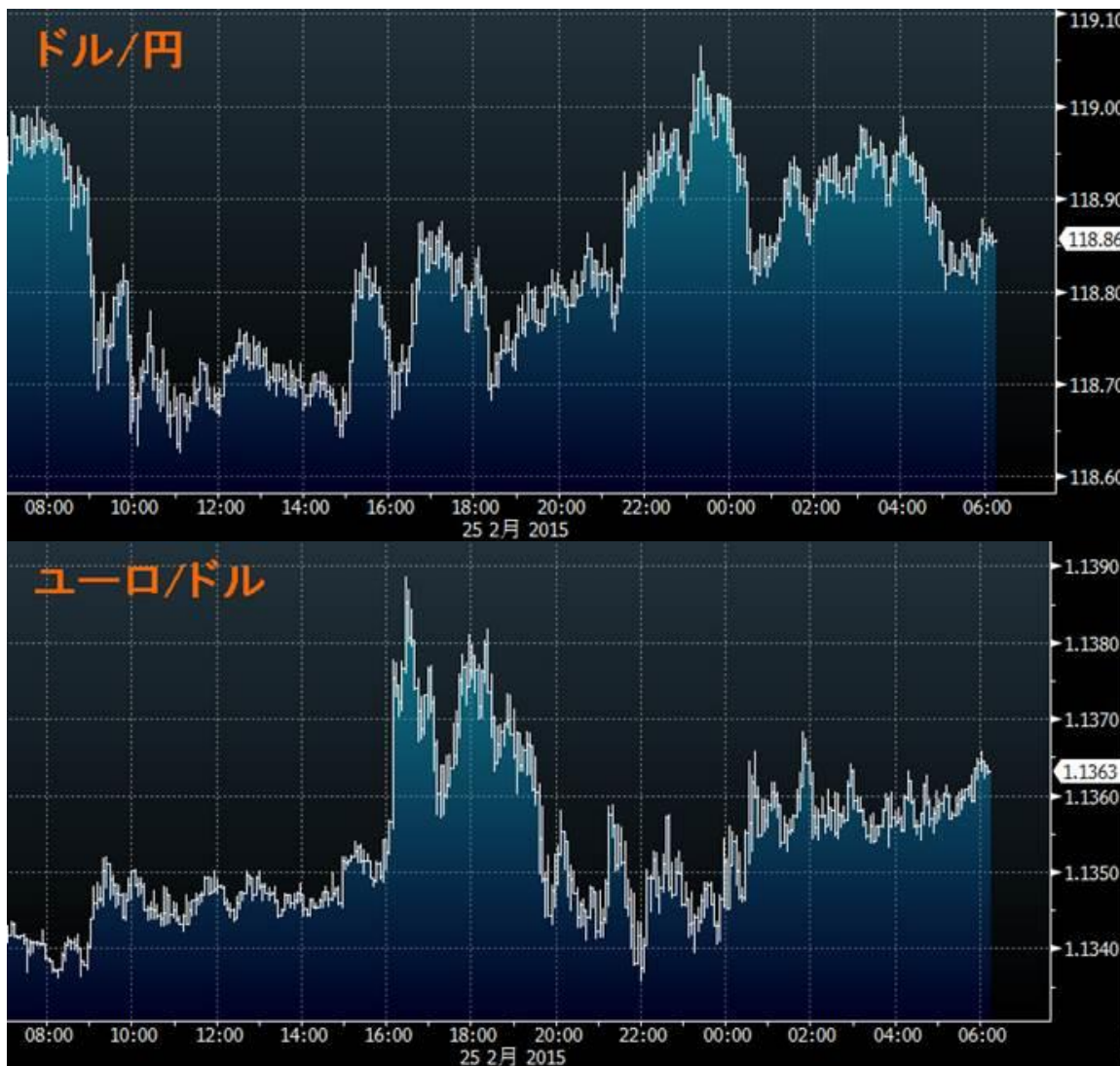
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.85	119.07	118.81
EUR/JPY	135.02	135.16	134.80
GBP/JPY	184.51	184.67	183.94
AUD/JPY	93.73	93.95	93.68
NZD/JPY	89.63	89.88	89.57
EUR/USD	1.1362	1.1369	1.1336
AUD/USD	0.7886	0.7902	0.7878

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤小動きながら堅調な動きも見られたものの、米国の主要な経済指標の発表がなく、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。ギリシャ支援が承認されたことやイエレン FRB 議長の議会証言が終了し、材料出尽くし感が出たことも限定的な動きの要因となった。



(出所: ブルームバーク)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。